

1 **特別寄稿**

働く人のメンタルヘルスを守る

11 **特集 1**

組合の共同事業と消費税の取り扱い

19 **特集 2**

最近の労働関係法令の改正について

23 **かごしまのプロフェッショナル**

自動車板金塗装一筋 社会の礎に

(有限会社マイカーボデー有村 代表取締役 有村則男 氏)

27 **Never Give Up! 元気を出そう! がんばれ中小企業**

ヒントは仕事の足元にある 「においを食べる水」開発

(有限会社新和建设工業)

30 **中央会の動き**

創業・起業・経営革新セミナー

異分野連携促進事業「交流促進会議・中小企業テクノフェア in 九州 2011 出展」

32 **インフォメーション**

鹿児島県最低賃金、労働保険適用促進強化期間のご案内

33 **業界情報** (平成 23 年 9 月情報連絡員報告)

35 **倒産概況** (平成 23 年 10 月鹿児島県内企業倒産概況)

37 **中央会関連主要行事予定**

Never Give Up! 元気を出そう! がんばれ中小企業

ヒントは仕事の足元にある 「においを食べる水」開発 — 有限会社新和建设工業 —

垂水市の土木工事業「有限新和建设工業」が、微生物の働きを応用した消臭剤「においを食べる水」を開発し、安全面・環境面とも優れた商品として今注目を浴びている。平成 22 年度の鹿児島県「トライアル発注制度」の対象製品にも選ばれた。

今回は、公共工事が減少する中、異分野参入へ挑戦する同社の代表取締役社長である篠原和郷氏にお話を伺った。

➤ 独学で研究・商品化

当社は、地盤改良工事を主体とした一般建設業者ですが、10 年程前、鹿児島県から受注した「ため池工事」を行う際、長年蓄積されていたヘドロの悪臭がひどく、何とかこの問題を解消できないかと考えました。

そこで、山歩きした際に目にした動物の死骸は微生物が分解を行うため、においがしないことに注目。

図書館に通う等、休日や仕事の合間に関係資料を読

みあさり、化学合成成分を使わない環境にやさしい消臭法の研究に着手し、数千回に及ぶ実験を重ねた結果、約 7 年かけて一般家庭でも使用できる「においを食べる水」の製品化にこぎつけました。

当製品は、納豆菌やイースト菌、乳酸菌等を配合し発酵培養させた水溶液です。嫌なにおいの元になる菌の悪臭成分を培養した微生物が分解・中和する、いわば微生物に食べさせるのがミソで、化学物質は使わず、3 次培養することでほぼ無臭にしています。

「私はモノづくり大好き人間、この製品を作っているうちに面白くてやめられなくなった。公共工事激減で本業が厳しくなる中、これに賭けたい」と意気込む。



篠原和郷 社長

■ 有限会社 新和建设工業

(1987 年 1 月設立)

- 業務内容：一般建設業、地盤改良工事、土質試験消臭剤の製造販売
- 所在地：鹿児島県垂水市田神 1858 番地 Tel 0994-32-0333、FAX 0994-32-1185
E-mail: info@niotabe-w.com URL: http://niotabe-w.com

➤ こんな製品です

「においを食べる水」は、環境浄化微生物が悪臭成分を分解する安心・安全な消臭剤です。環境浄化微生物は、人が食べても安心な成分を発酵培養して生まれました。化学合成成分は一切添加していないので、安心して使用できます。

また、一般的な消臭剤と違い、いやなにおいを香りでカバーするのではなく、悪臭成分を環境浄化微生物が分解して消臭するので、消臭後も人工的なにおいが残りません。無香料なので、香りが苦手な方にもお勧めです。

製品には、「室内消臭用」(部屋・靴・ペット等気になる所へスプレーして消臭)、「生ゴミ消臭用」(生ゴミバケツ・三角コーナー等へスプレーして消臭)、「洗濯消臭用」(洗濯槽へキャップ 1~2 杯入れる)の 3 種類があります。



においを食べる水



室内の消臭に使用

➤ 様々なところで使用されています

「においを食べる水」は、鹿児島県の経営革新計画に承認され(平成 21 年 12 月)、平成 22 年度「トライアル発注制度(県内の中小企業が開発した製品を県が試験的に発注し、受注幾会の拡大を図る制度)」の対象商品にも選定されています。商標登録は、平成 23 年 4 月に取得しました。

使用先としては、一般家庭や個人はもちろんのこと、クリーニング店や丸洗いでできないパイロットのヘルメット用として海上自衛隊鹿屋航空基地、ソマリア沖海賊対策で派遣されている海上自衛隊で使用されています。また、警察署や行政機関等、様々な機関で使用されています。



生ゴミの消臭に使用

現在は、垂水市環境センターと共同研究し、浄化槽の消臭に関する実験にも取り組んでいます。油分を分解し、臭いの原因菌も減少させ、河川への放流時の水質改善を図るものです。

また、この「においを食べる水」が、アトピーや皮膚のかゆみ、増毛にも効果があることが分かり、将来的には薬事法の取得も考えています。

➤ 地域活性化への想い

製造現場では、すべてが手作業で、発酵培養は私自らで行っています。

「においを食べる水」は、ネットショップ(1ℓ 2,100円)と、当社での現物販売(1ℓ 1,000円)のみで、今後も小売店等での販売は考えていません。

なぜなら垂水市を活性化したいという町おこしの想いからです。製品を購入していただくの

なら、我が社にご来店いただき、そして、垂水市を観光していただく。垂水には「猿ヶ城溪谷」、「高峠公園」等といった多くの観光名所があります。これまで鳥栖市や宮崎市からもお越しいただけていますが、当社が地域の活性化に貢献できればと思っています。

また、これからも広告宣伝は行わず、口コミ中心でやっていこうと思っています。それだけこの製品に対する自信をもっています。一度使用していただければ、ほとんどの方がリピーターになるだろうという自信があります。

なお、去る9月4日に鹿児島県中小企業団体中央会が開催した「組合展示会」に出展した際、中央会が、同じく出展していた鹿児島県漬物商工業(協)と引き合わせていただきました。そして先日、漬物商工業(協)のメンバーと、中央会主催による「異分野連携交流促進会議」を開催し、有意義な取り組みができました。今後もこうした異業種との連携にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



完成前の商品を貯蔵しているタンク室

➤ ピンチはチャンス

ここ数年、建設業界は公共事業の削減等で景気低迷しており、農業等の異分野に参入する業者も少なくありません。こうした中、「においを食べる水」の開発の動機が、請負工事からだったことを考えると、「一気に業種転換を図るよりも、今の仕事の足元にこそビジネスチャンスが潜んでいると思います。」よく「ピンチはチャンス」だと言いますが、まさにそのとおりで、私は過去の経験から困った時にこそ、ラッ



社長を支える篠原基郷専務取締役

キーだと思えるようになりました。

大切なことは諦めないことです。物事には必ず打開策はあります。だから諦めないこと、何度失敗しても諦めずに頑張っていけば道は開けます。そして、企業経営が順調な時にこそ、次の展開を考えて準備しておくことが必要だと思います。

これからも諦めずに、企業活動と地域貢献に取り組んでいきたいと思っています。